

## ◆就活に向けしっかり準備する –キャリア教育支援プログラム–

年が明けて、本学2年生の就職活動も大詰めを迎えており、内定獲得の報告も多く聞かれるようになってきました。現在も就活に取り組んでいる学生については支援を続けているところです。

3月からはよいよ1年生の就職活動も本格的にスタートします。就活本番に向けて、今年度秋学期から1年生を対象とした就職ガイダンスをはじめ、自分の特性や適性を知り、職業意識の醸成を促すためのキャリア教育支援プログラムを実施してきました。



▲企業研究の第一歩となった見学研修(株式会社札幌ドームにて)

11月14日(月)には企業見学研修を実施し、三井アウトレットパーク札幌北広島を運営する「三井不動産商業マネジメント株式会社」と「株式会社札幌ドーム」の二社を訪問しました。三井不動産商業マネジメント株式会社では、アウトレットでの流通のしくみやショッピングモールの運営などについて説明を受けた後、アウトレットパーク内の各店舗とバックヤードを見学させていただきました。学生たちは、インバウンド向けサービスを強化する企業の実際の取り組みに特に関心を示していました。株式会社札幌ドームでは、野球とサッカー2つのプロチームの本拠地となっているスタジアムの施設管理やイベント運営などの事業内容について説明を受けた後、ドーム内を普段では見ることができないところまで見学させていただきました。今回の企業見学研修も、それぞれの企業でのさまざまな仕事、働き方を研究できる貴重な体験となりました。

また、11月30日(水)には、フリーアナウンサーで本学客員教授の中田美知子さんを講師に招いて「ボイストレーニング講座」を実施しました。就職活動では面接やグループディスカッションなど人前で話す機会が増えることから、言葉をはっきりと発声する練習、滑舌の訓練などを行い、自分の話し方に自信を持ち、人前で話すことはもちろん、大勢の前で発表する場面においてもしっかりと発言できるようになることを目指しました。

将来の進路に向けての目標管理や情報提供を目的としたキャリアサポートセンター職員による個別のキャリア面談も始まりました。キャリアサポートセンターでは、就職相談のほかに履歴書の添削や面接練習なども随時受け付けています。

学生のみなさんが安心して就職活動に臨めるよう、今後もキャリア教育支援プログラムとサポート体制の充実に努めていきます。



▲魅力的な良い声を目指してボイストレーニング

## ◆就業体験から得た成果を発表 –インターンシップ報告会–

11月9日(水)、夏休みを利用してインターンシップに参加した学生による体験報告会が行われました。本学では、実際の就業体験をとおり高い就業意識を醸成することなどを目的にインターンシップを実施しており、今夏はキャリアデザイン学科1年生8人が「あかん湖鶴雅ウイングス」(釧路市阿寒町)と「農業生産法人道下産地」(岩見沢市栗沢町)でのインターンシップに参加しました。

このインターンシップの振り返りとして行われた報告会では、参加した学生たちがパワーポイントを用いてそれぞれが体験した研修内容を紹介し、そこで学んだことや社会で働くことへの気づきなどを発表しました。

鶴雅グループでのインターンシップに参加した川又早貴さんは、「研修を通して、自分自身と向き合うことができ自分に足りないものが見えてきました。自分の考えや意見を述べるのが苦手でしたが、人前で話す機会を多く与えられたおかげで自信を持ってプレゼンテーションができるようになりました。また、チームで働くこと、協働することの大切さを改めて感じました」と成果を報告しました。

農業インターンシップに参加した成田ひなさんは、「実際の農業に触れてみて、地味でたいへんな作業が多かったのですが、食の安全・安心への取り組みの重要性を知ることができました。愛情いっぱい中で育ったおいしい野菜を使ったレストラン、農作物直売所などの農業の新しい経営スタイルについても学ぶことができ、自分の視野が大きく広がる良い機会となりました」と大学の授業だけでは得ることのできない貴重な体験を語りました。

報告を聞いた学生からは、「インターンシップを経験することで意識の変化があるのだなと思いました」、「達成感など、実際に自分が働いてみないとわからないことがたくさんあると知りました。ぜひ自分もインターンシップに参加して色々なことを学びたいと思います」などの感想が述べられ、インターンシップの経験を共有する良い機会となりました。



▲着物を着こなし、小山女将から「おもてなしの心」を学びました(鶴雅グループインターンシップ)



▲農業の6次産業化を体験(農業生産法人道下産地インターンシップ)